

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ダイキョーニシカワ株式会社 大和工場

(2) 事業所の所在地

〒729-1332 広島県三原市大和町上草井505番地

(3) 業種

輸送機械器具用プラスチック製品製造業(1832)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21年度を基準年度とし、平成27年度から平成31年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))									
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー 起源CO2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量														
実績に対する 自己評価														

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：**売り上げ高(百万円)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)		目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
	平成21年度	平成31年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
エネルギー 起源CO2	1.649	1.565	1.107	1.103	0.879			32.9	33.1	46.7	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 k)	1.306	1.240	0.760	0.754	0.697			41.8	42.3	46.6	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	・既存設備／工程においては省エネ推進はされたが、工程移管等の新設において不十分な部分があった。											

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	・ A重油使用量の削減 原単位で10%削減	・ プレス工程 蒸気使用量の見直し改善実施 ・ 蒸気配管 保温材の一部更新 ・ 塗装工程 ブース温調制御の見直し
2	電気使用量の削減	・ 電気使用量の削減 原単位で10%削減	・ トップランナー高効率トランスへの更新 ・ Hf蛍光灯のLED化 ・ エアー漏れ定期チェック, 対策実施 ・ 循環水ポンプモーターのインバーター化
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	廃棄物削減とリサイクル化	埋立て廃棄物30%以上削減 (2018年)	・ 熱硬化樹脂のリサイクル化 ・ 熱可塑樹脂の埋立廃棄削減 (パージダングのリサイクル化等) ・ 一般廃棄物の分別徹底でリサイクル化
		廃プラ発生率低減 (2.5%以下)	・ 不良低減 ・ 即リターン率アップ; 長繊維; リターン化など ・ ランナーレス化
2	環境負荷物質の管理/低減	環境負荷物質; 自主管理計画 (実施率100%)	・ 新規部品; 環境負荷物質データ入手 (測定&登録) ・ 化学物質の適正管理/MSDSの教育

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。